

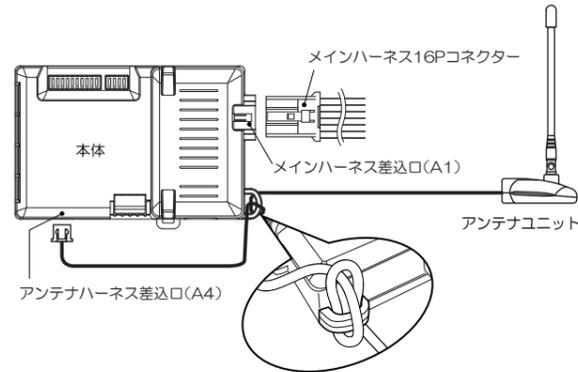
# 取り付け作業(つづき)

## 本体の取り付け

### ステップ1 本体とアンテナユニットを接続します。

**注意** アンテナハーネスは、振動などで外れないようにハーネスガイド穴に通してから、アンテナハーネス差込口へ確実に差し込んでください。(イラスト参照)。

本体のアンテナハーネス差込口(A4)へアンテナユニットから出ているハーネスのコネクターを差し込みます。



### ステップ2 本体とメインハーネスを接続します。

本体のメインハーネス差込口(A1)へメインハーネスの16Pコネクターを差し込みます。

### ステップ3 本体を固定します。

<b>警告</b>	・本体は、運転の妨げになる場所やエアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けしないでください。事故の原因となります。
<b>注意</b>	・本体は防水構造ではありません。水がかからない場所に取り付けてください。火災・故障の原因となります。 ・本体は、エアコンの吹き出し口付近へは取り付けしないでください。高温になったり、結露し、故障の原因となります。

本体をインストルメントパネルのアンダーカバー内またはセンターコンソール内側等に取り付けてください。本体が走行中などに動かないよう、付属の結束バンドまたは市販の両面テープを使用して、しっかりと固定してください。

**メモ** 本体の取り付け位置は、MODEスイッチの設定が行え、また他人の目に付きにくい目立たない場所を選んでください。

**V-1取り付けの場合** :63ページの「基本動作の確認」へ進んでください。

**V-10取り付けの場合** :次の「車種別専用ハーネス(別売)の接続(V-10のみ)」へ進んでください。

## 車種別専用ハーネス(別売)の接続(V-10のみ)

### ステップ1 キースイッチの配線カプラーを探します。

配線カプラーの位置は、大別すると次のようになります。詳細は、「E-GSシリーズ適応車種一覧表」の最新版を確認してください。

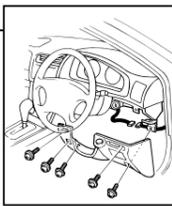
**メモ** キースイッチの配線カプラーは、基本的に車種別専用ハーネスのカプラーと同形状です。それを目安に探してください。

#### ■タイプ1

●アンダーカバーを外し、キーシリンダーに直接接続されているか、もしくはキーシリンダー直近に位置しているタイプ。

##### メモ

アンダーカバーを外す際、車種によってスピーカーカバー内やコインポケット等に隠しネジが付いている場合があります。

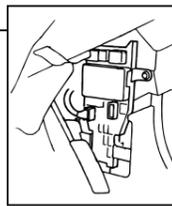


#### ■タイプ3

●ヒューズボックスやジャンクションブロックに直接接続されているタイプ。

##### メモ

ホンダ車の場合、アクセルペダル横のヒューズボックス内に接続されている場合もあります。

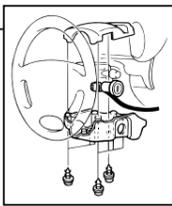


#### ■タイプ2

●ステアリングコラムカバーを外し、キーシリンダーに直接接続されているか、もしくはキーシリンダー直近に位置しているタイプ。

##### メモ

ステアリングコラムカバーを外す際、車種によってステアリングを90度位回さないとネジが外せない場合があります。

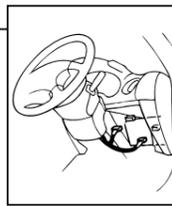


#### ■タイプ4

●配線カプラーが2箇所に分かっているタイプ。

##### メモ

それぞれの位置が離れている場合もあります。

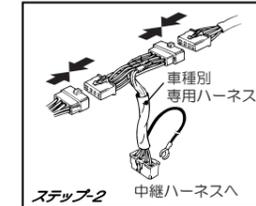


# 取り付け作業(つづき)

## 車種別専用ハーネス(別売)の接続(V-10のみ つづき)

### ステップ2 車種別専用ハーネスを接続します。

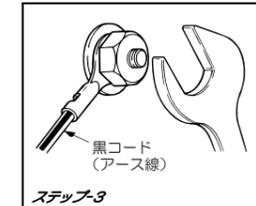
探したキースイッチの配線カプラーを外し、車種別専用ハーネスを外したカプラーの間に割り込ませます。



### ステップ3 黒コード(アース線)を接続します。

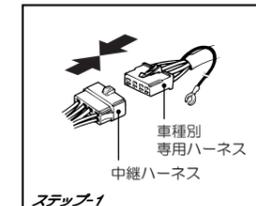
**注意** 塗装されている金属部分や車の振動等で緩んでしまう場所に接続しないでください。動作不良の原因となります。

車種別専用ハーネスから出ている黒コードを車体の金属部分へ接続します。



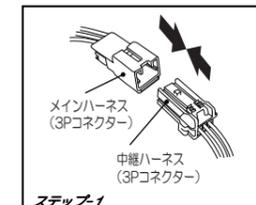
## 中継ハーネスの接続(V-10のみ)

### ステップ1 車種別専用ハーネスと中継ハーネスを接続します。



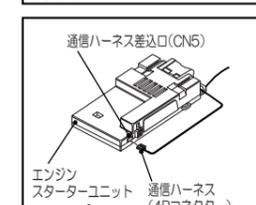
## エンジンスターターユニットの取り付け(V-10のみ)

### ステップ1 メインハーネスの3Pコネクターと中継ハーネスの3Pコネクターを接続します。



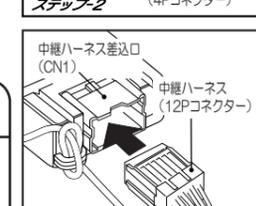
### ステップ2 エンジンスターターユニットの通信ハーネス差込口(CN5)へメインハーネスの通信ハーネス(4Pコネクター)を接続します。

**注意** 通信ハーネスは、振動などで外れないようにハーネスガイド穴に通してから、通信ハーネス差込口へ確実に差し込んでください。(ステップ3のイラストを参照)。



### ステップ3 エンジンスターターユニットの中継ハーネス差込口(CN1)へ中継ハーネス(12Pコネクター)を接続します。

**注意** エンジンスターターユニットと中継ハーネスの接続は、必ず一番最後にしてください。この取り付け手順を間違えると、約20秒後にエンジンスターターユニットから警告音「ビピーッ ビピーッ…」が鳴ります。警告音は、中継ハーネスを外せば鳴り止みます。



### ステップ4 エンジンスターターユニットを固定します。

<b>警告</b>	・エンジンスターターユニットは、運転の妨げになる場所やエアバッグの動作を妨げる場所には取り付けしないでください。事故の原因となります。
<b>注意</b>	・エンジンスターターユニットは防水構造ではありません。水がかからない場所に取り付けてください。火災・故障の原因となります。 ・エンジンスターターユニットは、エアコンの吹き出し口付近へは取り付けしないでください。高温になったり結露し、故障の原因となります。

エンジンスターターユニットをインストルメントパネルのアンダーカバー内またはセンターコンソール内側等に取り付けてください。エンジンスターターユニットが走行中などに動かないよう、付属の結束バンドまたは市販の両面テープを使用して、しっかりと固定してください。